

新しい年がやってきました。オリンピックイヤーでもある2020年という響きは特別なわくわく感がします。笑顔いっぱいの一年になりますように！

さて、今年の干支はねずみ。『ねずみのよめいり』という昔話がありますね。聞いたことあるけれど、ちゃんとは思い出せないと言う方のために私の知っているあらすじをご紹介します。



むかしむかしあるところに可愛らしい**ねずみ**の娘がいました。
娘の父母は、娘に世界で1番素晴らしい花婿を見つけてあげようと思いました。
ある日父母は、明るく輝く**太陽**が一番と思い、**太陽**に結婚を頼みに行きました。
ところが**太陽**は「一番素晴らしいのは私を覆い隠す**雲**です。」と言いました。
そこで父母は**雲**のところへ結婚を頼みに行きました。
すると**雲**は「私を吹き飛ばす**風**のほうが素晴らしい。」と言いました。
そこで今度は**風**のところへ行き娘との結婚を頼みました。
しかし**風**は「丈夫な**壁**は私には吹き飛ばせません。」と答えました。
そこで今度は**壁**のところへ娘との結婚を頼みに行きました。
ところが**壁**は「壁をかじる**ねずみ**にはとてもかないません。」と答えました。
なるほどと壁の言うことに納得した父母が、隣の**素敵な若者ねずみ**に結婚を申し込みに行くと、若者**ねずみ**は喜んで受け入れました。
二匹の若い**ねずみ**は結婚をして、とても幸せに暮らしました、とさ。

小さい頃、寝物語に祖母から昔話をたくさん聞きました。普通の昔話もあり、地方に伝わる民話もあったように思います。こども心にわくわくしたことを覚えていますが、民話の内容は忘れてしまいました。祖母の民話をこどもたちに引き継げなかったことを今になって残念に思っています。

今は素敵な絵本がたくさんあるので、就寝前に昔話をするよりは絵本の読み聞かせをしているご家庭が多いかと思います。お子さんたちは、お父さん、お母さんに読んでもらったという喜びの感覚を大きくなってきくと覚えていることでしょう。

